



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社
 コード番号 4547 URL <https://www.kissei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 神澤 陸雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務管理部長 (氏名) 駒村 孝幸 (TEL) 0263-25-9081
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	23,389	5.4	1,095	△48.0	2,185	△25.0	4,723	4.5
2026年3月期第1四半期	22,191	4.9	2,108	△2.3	2,915	1.4	4,519	10.1

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 3,056百万円(△46.2%) 2026年3月期第1四半期 5,677百万円(256.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	113.95	—
2026年3月期第1四半期	107.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	270,240	230,447	84.8	5,525.30
2026年3月期	275,086	231,536	83.7	5,552.11

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 229,034百万円 2026年3月期 230,146百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	60.00	—	100.00	160.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	105.00	—	65.00	170.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2026年3月期の期末配当金及び2027年3月期(予想)の第2四半期末配当金には、創立80周年記念配当40円をそれぞれ含んでいます。

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	44,800	△2.3	500	—	1,700	—	7,400	△4.9	176.92
通期	88,700	△8.9	2,000	—	4,000	—	13,300	△3.5	326.97

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 2026年2月27日開催の取締役会において、グループ従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブ制度の導入と自己株式の処分について決議しました。また、2026年5月11日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議しました。2027年3月期の業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の処分及び取得の影響を考慮しています。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	46,541,985株	2026年3月期	46,541,985株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	5,090,040株	2026年3月期	5,089,961株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	41,451,945株	2026年3月期1Q	41,892,237株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は 監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及びその他に関する事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、決算短信とあわせて当社ホームページに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
3. その他	11
(1) 販売実績	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間においては、2018年度から9年連続となる薬価改定が2026年4月に行われました。市場拡大再算定について、類似品の薬価を引き下げる「共連れ」ルールが廃止されたものの、選定療養制度における先発品に対する患者負担割合の増加や長期収載品の薬価引き下げ圧力の強まりなど、薬剤費全体の伸びは依然として抑制傾向にあり、医薬品業界は引き続き厳しい経営環境のもとに推移しています。

情報サービス業界、建設・施設メンテナンス業界、物品販売業界においては、IT需要や設備投資意欲に継続して堅調さが窺えるものの、市場金利の上昇、円安基調の継続及びエネルギーをはじめとする物価高騰などにより、依然として厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	増減率 (%)
売上高 (百万円)	22,191	23,389	5.4
営業利益 (百万円)	2,108	1,095	△48.0
経常利益 (百万円)	2,915	2,185	△25.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (百万円)	4,519	4,723	4.5

・売上高の状況

医薬品事業の売上高は、19,464百万円（前年同期比4.2%増）となりました。2026年3月に新発売した創製品である子宮筋腫治療薬イセルティに加え、過活動膀胱治療薬ベオーバ、透析患者におけるそう痒症治療薬コルスバ、持続性及び慢性免疫性血小板減少症治療薬タバリスの伸長などにより、増収となりました。なお、顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症治療薬タブネオスは、2,193百万円（前年同期比23.1%減）となりました。

情報サービス事業の売上高は3,074百万円（前年同期比34.8%増）、建設・施設メンテナンス事業の売上高は607百万円（前年同期比38.8%減）、物品販売事業の売上高は243百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

・利益の状況

利益面では、増収の一方で、売上原価率の上昇、研究開発費を主とした販売費及び一般管理費の増加などにより、営業利益、経常利益は減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益の計上により、増益となりました。

・研究開発の状況

2026年5月に、ライジェルフーマシューティカルズ社（米国）から技術導入したオルタシデニブ（一般名）について、再発又は難治性のIDH1遺伝子変異陽性の急性骨髄性白血病を適応症として国内で承認申請を行うとともに、オリエントユーロファーマ社（台湾）に台湾における開発権及び販売権を許諾しました。

海外導出品の研究開発状況としては、ライジェルフーマシューティカルズ社（米国）から技術導入したホスタマチニブ（一般名、国内販売名：タバリス）について、2026年7月に、台湾におけるサブライセンス先である台田薬品股份有限公司（台湾）が承認申請を行っています。

当社は、引き続き各研究開発プロジェクトを推進しています。

・個別製品の状況

タブネオスは、ケモセントリクス社（米国）により創製されました。ケモセントリクス社は、米国を除く特定の国の権利をビフォー・フレゼニウス・メディカル・ケア・リーナル・ファーマ社（VFMCRP社、スイス）に許諾しており、当社はVFMCRP社より日本における権利の再許諾を受け、2022年6月に発売しました。なお、ケモセントリクス社は2022年にアムジェン社に買収され、米国ではアムジェン社が、欧州ではビフォー・フレゼニウス・メディカル・ケア・リーナル・ファーマ・フランス社が、それぞれ販売しています。

タブネオスについて、米国食品医薬品局（FDA）は2026年3月31日に、本剤を服用した患者における重度の薬物誘発性肝障害を特定したとして、患者さんおよび医療従事者へ注意喚起を促す通知を発出しました。さらにFDAの医薬品評価研究センター（CDER）は2026年4月27日に、新たに得られた情報により、有効性が示されていないこと、承認申請書類には重要な事実と反した記載が含まれていたことが明らかになったとして、米国における承認の撤回を提案する旨を公表しました。これに対し、アムジェン社は、米国の承認を維持すべきとして聴聞会の開催を要請するとともに、その要請の根拠となる資料を2026年7月23日にFDAに提出したことを、2026年7月24日に公表しています。また、欧州医薬品庁（EMA）は2026年1月30日に、国際共同第Ⅲ相臨床試験データの整合性に疑義が生じたた

め、EMAの欧州医薬品委員会（CHMP）によるレビューを開始したことを公表し、CHMPは2026年6月26日（現地時間）に、本剤のベネフィットがリスクを上回ることが証明されていないとして、欧州連合（EU）における製造販売承認の取り消しを勧告しました。CHMPの見解は欧州委員会（EC）に提出されており、今後ECによる最終決定が下される見込みです。

当社は、欧米の情報を収集するとともに、必要な情報を医薬品医療機器総合機構（PMDA）に提供して厚生労働省を含めて協議を行い、2026年5月15日に、医療従事者に慎重な投与を要請する情報提供活動を開始しました。また、2026年5月21日に、重篤な肝機能障害について日本の添付文書を改訂するとともに、これを医療従事者に伝達し注意喚起を行う安全性速報（ブルーレター）を発出しました。

また、当社は厚生労働大臣から、本剤の製造販売承認申請資料について、法令が定める信頼性基準に適合していない可能性があるとして、欧米で問題とされている国際共同第Ⅲ相臨床試験データの信頼性に関する詳細な事実確認を行い、その報告を求める行政命令を受領し、2026年7月21日及び7月24日に回答しました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

・資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は270,240百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,846百万円減少しました。流動資産は現金及び預金が増加しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産、有価証券が減少したことなどにより、4,746百万円減少し110,223百万円となりました。固定資産は投資有価証券が増加した一方で、有形固定資産、投資その他の資産の「その他」に含まれる長期前払費用の減少などにより、100百万円減少し160,016百万円となりました。

・負債の状況

当第1四半期連結会計期間末の負債は39,792百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,757百万円減少しました。流動負債は、支払手形及び買掛金、未払法人税等が減少したことなどにより、3,397百万円減少し18,290百万円となりました。固定負債は繰延税金負債の減少などにより、360百万円減少し21,502百万円となりました。

・純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産は230,447百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,088百万円減少しました。利益剰余金が増加した一方で、その他有価証券評価差額金などが減少しました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の83.7%から84.8%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

医薬品業界においては、薬価制度改革をはじめとする医療費抑制策の影響を受け、引き続き厳しい経営環境下にあります。また、当社を含む当グループ各社においても、円安や物価高騰の影響などにより、先行き不透明な業界環境が継続するものと予想されます。

現時点での2027年3月期の中間期及び通期の連結業績見通しは、以下のとおりです。

なお、タブネオスについては、現時点の状況に基づき業績予想を行っているため、今後の状況の変化により、業績予想を修正する可能性があります。

（中間期）

	2026年3月期 中間期 実績	2027年3月期 中間期 当初見通し	2027年3月期中間期 見通し (対当初見通し増減額)	対2026年3月期 中間期	
				増減額	増減率(%)
売上高(百万円)	45,831	48,000	44,800 (△3,200)	△1,031	△2.3
営業利益又は 営業損失(△)(百万円)	△6,837	1,900	500 (△1,400)	7,337	—
経常利益又は 経常損失(△)(百万円)	△5,622	2,800	1,700 (△1,100)	7,322	—
親会社株主に帰属する 中間純利益(百万円)	7,784	8,000	7,400 (△600)	△384	△4.9

(通期)

	2026年3月期 実績	2027年3月期 当初見通し	2027年3月期見通し (対当初見通し増減額)	対2026年3月期	
				増減額	増減率(%)
売上高(百万円)	97,406	95,700	88,700 (△7,000)	△8,706	△8.9
営業利益又は 営業損失(△)(百万円)	△2,927	4,400	2,000 (△2,400)	4,927	—
経常利益又は 経常損失(△)(百万円)	△1,162	6,000	4,000 (△2,000)	5,162	—
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	13,779	14,500	13,300 (△1,200)	△479	△3.5

・売上高

タブネオスについて、第1四半期の処方動向を分析した上で、中間期、通期ともに売上予想を減額しました。その他の製品については、第1四半期の売上進捗状況を勘案し、若干増額しています。

・利益

中間期の利益見通しについては、タブネオスの減収による売上原価率の上昇により、売上総利益は減少する見込みです。販売費及び一般管理費は、第1四半期の経費進捗状況と第2四半期での費消見込みを精査した結果、営業利益は当初見通しから1,400百万円減額の500百万円(前年度比—%)、経常利益は当初見通しから1,100百万円減額の1,700百万円(前年度比—%)としました。特別利益は投資有価証券売却益を当初見通しどおり8,500百万円計上し、親会社株主に帰属する中間純利益は600百万円減額の7,400百万円(前年度比4.9%減)としました。

通期の利益見通しについては、中間期と同様に、売上原価率の上昇を見込んでいます。一方で、販売費及び一般管理費において、当初下半期に予定していた、導入品の国内開発進捗に伴うマイルストンの発生を来年度に見込むことに伴い、営業利益は当初見通しから2,400百万円減額の2,000百万円(前年度比—%)、経常利益は当初見通しから2,000百万円減額の4,000百万円(前年度比—%)に修正します。特別利益は投資有価証券売却益を当初見通しどおり14,000百万円計上し、親会社株主に帰属する当期純利益は1,200百万円減額の13,300百万円(前年度比3.5%減)としました。

なお、その他の事業については、売上高、利益ともに当初見通しからの修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,057	30,635
受取手形、売掛金及び契約資産	31,583	27,800
有価証券	25,367	22,319
商品及び製品	12,463	12,778
仕掛品	790	1,268
原材料及び貯蔵品	12,268	11,756
その他	3,437	3,665
流動資産合計	114,969	110,223
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	41,745	41,675
減価償却累計額	△30,703	△30,834
建物及び構築物（純額）	11,042	10,840
土地	10,695	10,670
建設仮勘定	543	636
その他	20,569	20,620
減価償却累計額	△14,758	△15,046
その他（純額）	5,811	5,574
有形固定資産合計	28,093	27,722
無形固定資産	1,969	2,157
投資その他の資産		
投資有価証券	104,271	104,581
退職給付に係る資産	13,287	13,522
繰延税金資産	538	522
その他	11,976	11,527
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	130,055	130,135
固定資産合計	160,117	160,016
資産合計	275,086	270,240

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,661	5,248
短期借入金	1,250	1,250
未払法人税等	5,006	1,278
賞与引当金	2,298	880
その他の引当金	129	119
契約負債	846	1,615
その他	5,494	7,898
流動負債合計	21,688	18,290
固定負債		
繰延税金負債	21,029	20,702
役員退職慰労引当金	220	201
資産除去債務	130	130
その他	482	468
固定負債合計	21,862	21,502
負債合計	43,550	39,792
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,243	24,243
利益剰余金	136,253	136,831
自己株式	△15,513	△15,514
株主資本合計	169,339	169,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,076	52,599
退職給付に係る調整累計額	6,730	6,517
その他の包括利益累計額合計	60,806	59,116
非支配株主持分	1,390	1,412
純資産合計	231,536	230,447
負債純資産合計	275,086	270,240

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	22,191	23,389
売上原価	11,111	11,956
売上総利益	11,079	11,432
販売費及び一般管理費	8,971	10,337
営業利益	2,108	1,095
営業外収益		
受取利息	25	47
受取配当金	667	682
有価証券売却益	—	336
有価証券評価益	116	32
その他	30	18
営業外収益合計	839	1,116
営業外費用		
支払利息	6	8
為替差損	12	11
支払手数料	11	6
その他	1	0
営業外費用合計	32	26
経常利益	2,915	2,185
特別利益		
固定資産売却益	—	19
投資有価証券売却益	2,857	4,090
特別利益合計	2,857	4,109
特別損失		
固定資産処分損	25	1
特別損失合計	25	1
税金等調整前四半期純利益	5,747	6,293
法人税、住民税及び事業税	1,460	1,203
法人税等調整額	△233	327
法人税等合計	1,227	1,530
四半期純利益	4,520	4,762
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	39
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,519	4,723

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	4,520	4,762
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,300	△1,488
退職給付に係る調整額	△143	△216
その他の包括利益合計	1,156	△1,705
四半期包括利益	5,677	3,056
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,653	3,033
非支配株主に係る四半期包括利益	23	22

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品	情報サービス	建設・施設 メンテナンス	物品販売	
売上高					
医薬品事業					
国内医薬品	16,371	—	—	—	16,371
輸出・海外ライセンス	1,431	—	—	—	1,431
ヘルスケア食品	878	—	—	—	878
情報サービス事業	—	2,810	—	—	2,810
建設・施設メンテナンス事業	—	—	1,807	—	1,807
物品販売事業	—	—	—	296	296
顧客との契約から生じる収益	18,681	2,810	1,807	296	23,595
外部顧客への売上高	18,681	2,280	992	236	22,191
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	529	814	59	1,404
計	18,681	2,810	1,807	296	23,595
セグメント利益	1,809	73	130	33	2,046

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,046
セグメント間取引消去	60
固定資産の調整額	△9
その他の調整額	9
四半期連結損益計算書の営業利益	2,108

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品	情報サービス	建設・施設 メンテナンス	物品販売	
売上高					
医薬品事業					
国内医薬品	17,124	—	—	—	17,124
輸出・海外ライセンス	1,483	—	—	—	1,483
ヘルスケア食品	855	—	—	—	855
情報サービス事業	—	3,566	—	—	3,566
建設・施設メンテナンス事業	—	—	1,296	—	1,296
物品販売事業	—	—	—	272	272
顧客との契約から生じる収益	19,464	3,566	1,296	272	24,600
外部顧客への売上高	19,464	3,074	607	243	23,389
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	492	688	29	1,211
計	19,464	3,566	1,296	272	24,600
セグメント利益又は損失(△)	624	305	98	△0	1,028

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,028
セグメント間取引消去	61
固定資産の調整額	8
その他の調整額	△2
四半期連結損益計算書の営業利益	1,095

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,088百万円	1,162百万円

3. その他

(1) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品事業	18,681	84.2	19,464	83.2	782	4.2
泌尿器科用薬剤	5,426	24.5	6,090	26.0	663	12.2
腎・透析科用薬剤	4,169	18.8	4,700	20.1	531	12.7
希少疾病用薬剤	3,726	16.8	3,368	14.4	△358	△9.6
代謝内分泌科用薬剤	995	4.5	843	3.6	△152	△15.3
産婦人科用薬剤	135	0.6	216	0.9	81	60.1
眼科用薬剤	47	0.2	33	0.1	△13	△28.2
その他の薬剤	814	3.7	683	2.9	△130	△16.0
その他 (注) 1	1,056	4.8	1,187	5.1	131	12.4
輸出・海外ライセンス (注) 2	1,431	6.4	1,483	6.3	52	3.7
ヘルスケア食品	878	4.0	855	3.7	△22	△2.6
情報サービス事業	2,280	10.3	3,074	13.1	793	34.8
建設・施設メンテナンス事業	992	4.5	607	2.6	△384	△38.8
物品販売事業	236	1.1	243	1.0	6	2.7
合計	22,191	100.0	23,389	100.0	1,197	5.4
(うち輸出高)	(1,435)	(6.5)	(1,489)	(6.4)	(53)	(3.7)

(注) 1. 国内販売提携先供給額、コ・プロモーションフィーの合計額

2. ライセンスアウトに係る契約金、マイルストーン収入、ランニングロイヤリティ及び医薬品輸出の合計額

3. セグメント間取引については、相殺消去しています。